

メキシコ家畜衛生センター技術協力計画 最終エバリュエーション討議要旨

1984年4月14日に署名された討議々事録(B/D)に基く事業計画に従い、1986年4月9日から22日の間、園田暁郎博士を団長とする国際協力事業団エバリュエーション調査団は、メキシコ合衆国を訪問した。

メキシコ合衆国滞在中、日本チームとメキシコ側担当官はテカマック市の国立家畜衛生センター(CENASA)と国立獣医用生物学的製剤製造所(PRONABIVE)を訪問し、現在の事業活動と目的達成度について入念に調査を実施し、メキシコ側関係者、プロジェクトに派遣されている日本人専門家それとカウンターパートとの間で詳細につき討議を行った。

本プロジェクトの事業評価のために行われた、これらの調査及び審議結果をふまえ、1986年4月21日、メキシコ市所在の農林牧畜防疫保護総局において、関係当局代表出席のもとに開かれた最終会合において、本プロジェクトの進捗状況及び目的達成度の検討及び評価を行った。

最終会合の報告書はここに添付する。

署 名
園 田 暁 郎
JICAエバリュエーションチーム団長

署 名
JAVIER VAZQUEZ GONZALEZ
農業水資源省農林牧畜防疫保護総局長

目 次

1. プロジェクトの背景	101
2. プロジェクトの枠組	101
3. 日本側の措置	102
4. メキシコ側の措置	103
5. 現状及び実績	105
6. 所見及び提言	108
7. 要約及び結論	109

添 付 物

1. 合同評価調査団メンバー	111
2. 合同評価調査団活動計画	111

1 プロジェクトの背景

- 1.1 プロジェクト発足当時、メキシコは工業化が著しく促進されつつあったが、同時に農業、なかでも畜産業が重要視されていた。このため、家畜衛生が優先的に考慮されていた。
- 1.2 しかし、伝染性疾病が家畜生産の発展を阻害していたため、家畜衛生改善が畜産業発展のため必要不可欠のものとして考えられていた。
- 1.3 1978年に、豚コレラと病性の酷似したアフリカ豚コレラの発生がブラジル、ドミニカ、ハイチにみられ、メキシコ政府はその侵入、蔓延を恐れていた。オーエスキー、豚コレラのような豚ウイルス性疾病がメキシコの養豚業発展の障害要因となっていた。
- 1.4 メキシコ政府は豚のウイルス性疾病対策に力を入れた。
- 1.5 アフリカ豚コレラの予防は次の2つの方法以外にない。
 - 1.5.1 検疫の強化。
 - 1.5.2 疾病の早期診断と感染豚の殺処分。
- 1.6 アフリカ豚コレラの早期発見は豚コレラの撲滅後、初めて可能となるため、豚コレラ防疫対策の確立が養豚業の発展のため最も重要とされた。
- 1.7 このような状況のもとで、技術協力計画、特に豚コレラワクチン製造と家畜ウイルス性疾病診断に関する協力が家畜衛生改善を目的として開始された。

2 プロジェクトの枠組

日本とメキシコ合衆国の間の家畜衛生センター技術協力計画は、1981年4月14日、国際協力事業団実施協議チーム団長佐澤弘士博士と農業水資源省牧畜副省次官オスカー・バルデス・オルネーラ博士により署名された討議々事録(R/D)により定められた。

その内容の要旨は次のとおりである。

- 2.1 次の事業活動がテカマックの家畜衛生センターで実行される。
 - 2.1.1 豚コレラGPワクチンの試作と検定に関する技術の確立。
 - 2.1.2 豚コレラ及びアフリカ豚コレラを中心とする重要ウイルス性疾病の診断技術の確立。
 - 2.1.3 上記2項に関して家畜衛生センター及び関連機関における家畜衛生技術者に対する技術指導。
- 2.2 日本側はワクチン製造、ワクチン検定、ウイルス病診断の分野における専門家を派遣する。又、疫学、実験動物、電子顕微鏡及び他の関連分野における短期専門家を派遣する。
- 2.3 日本側はプロジェクトの実施に必要な機材、機械、器具、車輛、ワクチン株、動物用生剤等を供与する。
- 2.4 日本側はプロジェクトに従事しているメキシコ側スタッフを技術研修又は視察のため受入れる。

2.5 メキシコ側はプロジェクトの運営と実施に関し責任を負い、日本人専門家はプロジェクト実施のために技術的な指導と助言を与える。

2.6 技術協力の期間は1981年6月1日より5年間とする。但し、協力開始後3年目に見直しを行う。

3. 日本側の措置

3.1 日本人専門家の派遣

3.1.1 プロジェクト開始前に日本人専門家2名が3年間、家畜衛生センターにおいてウイルス性疾病診断の技術指導に当たった。

3.1.2 プロジェクトが開始された1981年6月1日以降、1986年4月中旬まで長期専門家13名(253.5人・月)、短期専門家20名(48.5人・月)が派遣されている。

3.1.3 専門家の担当は次のとおり。

チーム・リーダー	4 (家禽疾病, ウイルス病診断及びワクチン製造兼務)
ワクチン製造	5
ワクチン検定	6
ウイルス病診断	4
実験動物	3 (1名は業務調整を兼務)
疫学	3
電子顕微鏡	3
純水製造装置	4
恒温室据付	1

3.1.4 1985年度までの専門家派遣費は318百万円に達する。

3.2. メキシコ側カウンターパートの日本への研修受け入れ。

3.2.1 プロジェクト開始前に2名のメキシコ人担当官を2週間の視察、1名の獣医師を6ヶ月の技術研修に受け入れた。

3.2.2 現在までにメキシコ人21名(81.5人・月)が日本で研修を受けた。

3.2.3 研修分野は次のとおり。

家畜衛生行政	5 (2.9人・月)
ワクチン製造	4 (26.9人・月)
ワクチン検定	1 (6.0人・月)
ウイルス病診断	6 (35.7人・月)
実験動物	1 (4.0人・月)
電子顕微鏡	1 (4.0人・月)

純水製造 1 (2.0 人・月)

家畜衛生・集団コース 2 (12.2 人・月)

3.3 機材供与

3.3.1 R/Dに基く実行計画に従い、プロジェクト開始より現在まで、350百万円相当の機材がJICAにより供与された。

3.3.2 主な機材は純水製造装置電子顕微鏡、恒温室及びワクチン製造、ウイルス病診断に必要な資材である。

3.3.3 G.P.ワクチンの安全性及び効力を実証し、明示するために、日本から15,000ドーズのワクチンが供与された。

3.3.4 機材供与計画の他に日本人専門家により携行された機材は現在まで20百万円に達する。

3.3.5 1986年5月末までにプロジェクトのため60百万円相当分が供与される。

3.4 プロジェクトに関連して、1980年から1985年までJICAにより派遣された調査団費用は29百万円となる。

3.5 1982年度の純水製造装置据付を含むローカルコスト支出の一部負担はプロジェクト開始より現在まで32百万円に達する。

4. メキシコ側の措置

4.1 職員

4.1.1 プロジェクト期間中十分な数の職員がカウンターパートとして配置されたが、ひんぱんな配置換え転職がプロジェクトの実施上の防げとなった。テカマックの家畜衛生センターにおける現在の職員の状況は次のとおりである。

技術スタッフ		管理スタッフ			計
専門職	技術補助職	大学卒	高卒	中卒	
62	35	29	71	56	253

4.1.2 メキシコ人カウンターパート

FERNANDO LARIOS G

清水 実 嗣

JUAN J. GUTIERREZ M.

島 袋 哲

CATALINA VALENCIA V.

ALEJANDRA GUTIERREZ Q.

DIANA S. NERI BERNAL

JORGE VALDEZ ORTIZ	橋 本 敬 次
ALEJANDRO LOYO FERNANDEZ	
LUIS LARA PACHECO	今 田 忠 男
JAVIER GARCIA ROMERO	
OCTAVIO CRUZ GOMEZ	
MARGARITA ANDA VARGAS	
RAUL MARTINEZ ARRIAGA	
REBECA PEREZ BECERRA	久 保 正 法
RAYMUNDO CASTILLO	谷 口 信 一
MA. DE LA LUZ HERNANDE	
ROSA RUIZ MEJIA	

4.2 建物及び施設

1981年4月にプロジェクトが発足した時に、次の建物は完成していた。

悪性伝染病棟，実験動物棟，解剖棟，診断棟，管理棟。検疫棟の建物は1982年末に終了した。

ワクチン製造のための製剤棟は1983年9月に着工し，1986年3月に完成した。

ワクチン検定棟の建築工事は長い間中断されていたが，1984年4月に当初計画規模の40%減で工事が再開された。しかし，現在まで完成しておらず，工事の進捗状況は約70%であり，1987年には完成の予定である。

製剤棟工事の遅れは，プロジェクトの目的達成，特にワクチン製造に種々の問題を提起した。

4.3 運営資金

本プロジェクト運営のため，農業水資源省は施設，設備，機材の維持，職員の給与を含めて次の資金手当を行った。

年 次	百万ペソ
1981	2.5
1982	4.3
1983	89.0
1984	107.0
1985	127.0
1986	324.2

4.4 その他

メキシコ政府は1984年以降、純水製造装置用の試薬及び電子顕微鏡維持のため毎年2,000米ドルの資金手当を行った。

5 現在の進捗状況と目的達成度

5.1 準備調整

5.1.1 機械・器具

G P ワクチンの製造、検定に必要な機械、器具及び消耗品類はほぼ整備されている。各種機器の操作、ガラス器具の洗浄、滅菌並びに組織培養用試薬類の準備調整にも問題はない。

5.1.2 モルモットの生産

一時期、モルモットのコロニーは施設や飼養条件の不備とヘルペスウイルスによる汚洗の問題があった。しかしながら、S P P モルモットの供給と飼養管理システムの改善により、これらの問題は解決した。健康モルモットコロニーが確立され、必要量の健康モルモットを計画的に生産、供給が可能となっていた。

5.1.3 検査法の確立

組織培養用の血清や試薬類の品質検査法及びG P ワクチンの各種検査法は確立している。

5.2 基礎技術

5.2.1 組織培養

G P ワクチンの製造と検定に必要な各種細胞の培養のための基礎技術は確立された。モルモット胎細胞の大量培養技術は現在指導中である。

5.2.2 ウイルス及び抗体の検査

E N D 法及び干渉法による豚コレラウイルス及び中和抗体の検出は完全に移転されている。

5.3 ワクチンの検定

5.3.1 自家検査

自家検査のための各種基礎技術は伝達されている。現在、CENASA で試作ワクチンが製造中である。従って製造過程の自家検査を日本人専門家が指導する必要がある。

5.3.2 国家検定

製造段階の試験と最終製品の試験の意味を明確にする必要がある。近い将来、全ロット国家検定システムを確立するためには、予算や施設、技術者の配置、そして検定部の組織の改善が必要である。現在、日本人専門家とメキシコ側カウンターパートとでメキシコにおけるG P ワクチンの検定基準を作製中である。

5.4 G P ワクチンの製造

5.4.1 マスターシードウイルスの作製と検査

PRONABIVEで18.2 lのマスターシードウイルスが作製され、8.6 lが小分けされ、215ロット分のマスターシードウイルスとして、 -80°C に凍結保存された。残りは検定用ワクチン84,700ドースの製造に用いられた。これらのマスターシードウイルスと検定用ワクチンはすべての検査に合格した。

5.4.2 試作ワクチンの製造

PRONABIVEにおいて、8サブロット(779,820ドース)から成る試作ワクチンを1ロット製造した。現在、CENASAの生剤棟で500,000ドースの試作ワクチンを製造中である。

5.4.2.1 凍結乾燥技術

PRONABIVEにおいては、凍結乾燥の技術は伝達されていたが、CENASAでは未実施であった。試作ワクチンの製造とともにCENASAにおいても伝達される予定である。

5.4.2.2 現行ワクチンの比較

既存のワクチン5種とGPワクチンを実験室内で比較検討した結果、GPワクチンは他の5種類のワクチンより安全性及び有効性ですぐれていることが明らかとなった。

5.4.3 試作ワクチン

5.4.3.1 野外試験

試作ワクチンの野外試験は、ソノラ州、メキシコ州、ユカタン州の養豚場で実施された。この試験で試作ワクチンの安全性が確認され、有効性については現在調査中である。

5.4.3.2 繁殖豚の抗体調査

20州の37養豚場で調査を行った。1,285頭の母豚について検査し、抗体価が低いことと農場により抗体価が異なることが明らかとなった。従って統一したワクチン接種プログラムの策定は現在のところ困難であると考えられる。生後早い時期にワクチンを接種することが望ましい。

一部の豚群では、抗体価の高い母豚が存在することから、初回ワクチン接種1～2か月後に再接種すべきである。

5.4.4 試作ワクチンの量産

PRONABIVEで3ロット、300万ドースが製造された。

5.4.5 大量ワクチン製造の研修

研修は未実施であるが、現在計画中である。

5.4.6 GPワクチンの量産

GPワクチンの量産は、PRONABIVEにおいてメキシコ側カウンターパートにより実施中である。

5.4.7 実際用ワクチンの製造

PRONABIVEで製造された300万ドース中200万ドースはメキシコの農場ですでに使

用されていた。しかしCENASAがGPワクチンの製造技術の普及に努めることが望まれる。

5.5. 他のウイルスワクチンの製造

GPワクチンの製造技術の移転が最重要課題であり、現在までのところ他のワクチンは製造されていない。

5.6. 豚コレラの診断

豚コレラの診断には各種の方法が確立され、現在日常業務として用いられている。ヘントウや脾臓の凍結切片及び診断材料を接種した培養細胞を蛍光抗体で染色することも行われている。蛍光抗体の作製、標本の作製、決色、観察及び診断、これら蛍光抗体法に関する技術は、移転されている。

5.7. 他のウイルス病の診断

5.7.1. 培養細胞、ウイルス株、抗原及び抗血清

主要なウイルス病の診断に必要な種々の培養細胞は、収集され順調に維持されている。主要なウイルス病の標準ウイルス株は集められ、実際の使用のためふやされている。標準抗原と抗血清は作製され、診断に使用されている。これらの保存及び記録には問題がある。

5.7.2. ウイルスの分離・同定

オーエスキー病、牛伝染性鼻気管炎等重要疾病については、ウイルスの分離及び同定法が確立された。

5.7.3. 血清反応

基礎的な血清反応である中和試験、赤血球凝集抑制反応、ゲル内沈降反応及びELISAが確立された。

5.7.4. 蛍光抗体法

蛍光抗体法は確立され、各種ウイルス病に使用されていた。

5.7.5. 電子顕微鏡

電子顕微鏡の操作技術も確立され、病理学的診断の一部として用いられていた。

5.7.6. 免疫学的手技の確立

免疫グロブリンの分画及び精製法は確立された。リンパ球の活性測定の技術移転は実施されていない。

5.7.7. 他のウイルス病の診断の現状

現在以下のウイルス病の診断が可能である。

牛：牛伝染性鼻気管炎、牛ウイルス性下痢症、牛パラインフルエンザ3型感染症

豚：豚伝染性胃腸炎、オーエスキー病

鶏：ニューカッスル病、鶏伝染性気管支炎

馬：ベネズエラ馬脳炎、馬伝染性貧血

以上のように牛、豚、鶏及び馬の主要なウイルス病の診断が可能なることから、ウイルス性
疾病の主な診断技術は、おおむね移転されたと考えられる。

5.7.8 その他

主要な疾病の診断技術のマニュアルは作製中である。R/Dに記載されたウイルス性疾病の
診断に関する目的は、ほぼ達成されていると考えられる。

6. 所見及び提言

6.1 建物、施設及び機材

6.1.1 本プロジェクトの期間中、困難な経済状態下にあったが、メキシコ政府の努力により、
CENASAにおける建物の建設はおおむねR/Dの計画どおり完了している。しかし、生剤棟
の整備が計画よりかなり遅れて完成し、ワクチン製造に関する技術移転遅延の大きな原因と
なった。また、検定棟は現在未完成であり、1987年に工事再開の予定であるが、検定のシ
ステム化のため、早期の完成が要望される。

6.1.2 機材及び装置

純水装置、電子顕微鏡、凍結乾燥機など大型の主要施設及びプロジェクトに必要な機材は
満足すべき状態で設置された。しかし、これらの機材の中にはなお部品の交換、整備および
維持が必要である。そのため、今後これらの機材の保守、維持管理のため予算的措置は十分
配慮する必要がある。

6.2 職員とその配置

カウンターパートは十分配置されたが、配置換えおよび民間企業へ転出する例がみられ、
プロジェクト運営上かなり支障を来し、技術移転上の大きな防げとなった。今後 Tecamacの
CENASAが技術の核となるためにはスタッフの配置、管理に十分な対応が望まれる。

6.3 事業の活動

6.3.1 ワクチン製造に関する基礎技術はほぼ順調に移転された。しかし、ワクチン量産の定
着化が残されているので、早期にその技術の実施および定着化が望まれる。PRONABIVE
でGPワクチンの大量生産(300万ドーズ)が実施され、メキシコで本ワクチンが製造され
ることが実証された。また、このワクチンの効力及び安全性が比較検討され、GPワクチン
の優秀性が明らかにされた。

GPワクチンのシードウイルスの供給及びワクチンの検定はワクチンの安全性、効力保持
及び標準化のためにCENASAにおいて実施されるべきである。

6.3.2 ウイルス性疾病診断

6.3.2.1 豚コレラの診断については技術移転が十分行われており技術が確立されていると考
えられる。

6.3.2.2 その他のウイルス性疾病については診断用ウイルスや抗原の調整，各種血清反応技術の定着，ウイルスの分離同定による診断法，組織培養法及び蛍光抗体法による診断も日常業務として行われている。また，蛍光標識抗体の調整，酵素免疫測定法（ELISA）などによる診断も実施できる体制にあり，技術マニュアル化も行われて，プロジェクトのR/Dの目標を達成していると考えられる。

6.4 プロジェクト終了後のメキシコ側対応

6.4.1 ワクチンの製造，検定及び診断にかかる機器の保守及び整備ならびに試薬，血清類，消耗品の供給を潤滑に実施するためには各組織間の円滑な運営と適切な予算処置がのぞまれる。

6.4.2 有効な且つ一定規準のG Pワクチンを供給できるようにするために，ワクチンの製造はシードロットシステムによるのが望ましく，そのシードウイルスの保管，製造及び配布はCENASAで行うべきである。

6.4.3 G Pワクチンの定着化，普及のためにCENASAにおいて定期的にG Pワクチンの製造検定に関する講習会を開催し，技術の普及につとめることが望ましい。

7. 要約と結論

本プロジェクトが1981年6月に開始されて現在まで5年間に日本及びメキシコ合衆国政府はプロジェクトの目的達成にあらゆる努力を払ってきた。しかし，このプロジェクトの期間中，製造に関する建物の建設の遅延，家畜衛生体制の改変，1985年9月の大地震などのため本プロジェクトは重大な危機に直面した時期もあった。このような状況にもかかわらず，メキシコ政府当局，CENASA及びPRONABIVEの協力，JICAの日本人専門家の努力によってR/Dに示された計画が実行され，ワクチン製造及び検定に関する基礎技術，ウイルス病診断についてはおおむね目標どおりの技術移転がなされたことは高く評価される。

しかしながら，ワクチンの量産及び検定技術のシステム化などG Pワクチンの定着化に不可欠な製造における基準化が問題として残されている。

上記の理由からR/Dによる協力期間終了後さらに1年間ワクチン製造に関する専門家派遣が必要である。

謝 辞

日本エバリュエーション調査団は本エバリュエーションの調査活動と資料作製にご協力とご指導を賜った農林牧畜防疫保護局Javier Vazquez Gonzalez 局長，家畜衛生部長Jose Trapaga Barrientos 博士，CENASAの所長Jorge Vargas Levars 博士及びPRONABIVEの所長Salvador Romero Acevedo 博士並びに各機関の関係各位に対し深甚の謝意を表し

ます。

さらに、メキシコ側は園田暁郎博士を団長とし、古内進博士、中村成幸博士及び山縣正安氏からなる日本のエバリュエーション調査団並びに国際協力事業団のメキシコ代表細野豊氏によって実行された立派な仕事に対し感謝の意を表します。

添 付 物

1. 合同評価チーム・メンバー

1.1 日本チーム

園 田 暁 郎	総 括
	農水省家畜衛生試験場企画連絡室普及科長
古 内 進	ワクチン製造
	農水省家畜衛生試験場東北支場第一研究室長
中 村 成 幸	ウイルス病診断
	農水省動物医薬品検査所検査第一部豚コレラ予防液 検査室
山 縣 正 安	業務調整
	国際協力事業団農業開発協力部畜産開発課課長代理

1.2 メキシコチーム

JAVIER VAZQUEZ GONZALEZ	農業水資源省農林牧畜防疫保護総局長
JOSE TRAPAGA BARRIENTOS	農林牧畜防疫保護総局家畜衛生部長
SALVADOR ROMERO ACEVEDO	国立動生剤製造所所長
JORGE VARGAS LEVARO	家畜衛生部品質管理部次長
ROBERTO A. CERVANTES	家畜衛生部診断科微生物室長

2. 合同評価チーム活動計画

4月10日	JICA事務所にて打合せ
11日	グアダラハラ市のワクチンメーカー、アンコール社視察
12日	
13日	
14日	家畜衛生センターにて第1回合同評価会議
	” ワクチン製造について調査
15日	” 実験動物、ワクチン検定、ウイルス病診断について

て調査

- 4月16日 PRONABTVEにて調査
- 17日 家畜衛生センターにて第2回合同評価会議
- 18日 " 第3回 "
- 19日
- 20日
- 21日 合同委員会開催，報告書署名

14-IV-86

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS EN
JAPON

1.- Nombre: GABRIELA LOERA Y CHAVEZ SESMA

2.- Período de entrenamiento en Japón: 19-SEP-84 19-III-85

3.- Tema de entrenamiento: PRODUCCION DE VACUNA COLERA PORCINO

4.- Asignación y puesto que tenía en el momento de entrenamiento:
ANALISTA TITULAR

5.- Asignación y puesto actuales: JEFE DE PROYECTO

6.- Exprese sus opiniones:

6-1 Entrenamiento en Japón: Satisfactorio
b) No satisfactorio (si Ud. escoje b) menciones -
sus razones.
a) Satisfactorio

6-2 Después de regresar a México, estudios realizados en Japón le resultaron:

Muy utiles
b) bastantes utiles.
c) No utiles (si ud. escoje b) o c), mencione sus
razones.

a) Muy utiles

7. Expreses sus opiniones sobre el proyecto (Por ejemplo, sobre Expertos -- Japoneses, administración y trabajos de investigación. Contrapartes -- Mexicanos, etc).

7-1. Expertos Japoneses:

En general todos los expertos japoneses con quienes tuve la oportuni-
dad de trabajar fueron buenos maestros ya que dominaban su campo de
enseñanza además de ser bellisimas personas.

7-2. Administración del Proyecto:

Aunque en este campo no podemos hablar mucho ya que no estuvimos dentro
de ella, pero lo que si podemos decir es que nunca carecimos de lo --
necesario para trabajar.

7-3. Contrapartes Mexicanos:

Creo que en este campo todos los mexicanos hicimos lo que pudimos y --
trabajamos con todo nuestro empeño, aunque sabemos que el horario de
trabajo fue una barrera.

7-4. Otros:

Creo que el idioma fue otro pequeño problema para poderse entender
con claridad entre ambas partes.

1. Dra. Gabriela Loera y Chavez Sesma
2. 日本での研修期間： 1984. '9. 19 ~ 1985. 3. 19
3. 研修タイトル： 豚コレラワクチンの製造
4. 研修時の職位： 分析員
5. 現 職： プロジェクト責任者
6. 意 見：
 - 6-1 日本での研修： 満足すべきものであった。
 - 6-2 帰国後の研修成果： 非常に効果がある。
7. プロジェクトに関する意見：
 - 7-1 日本人専門家について： 仕事をする機会があった日本人専門家は全般的に良い師であり、指導分野に通曉しており、素晴らしい人々であった。
 - 7-2 プロジェクトの運営について： この分野については余り話すことが出来ないが、彼等の中に居てからは仕事上必要なものが不足したことがなかったと云える。
 - 7-3 カウンターパートについて： 多分メキシコ人は出来るかぎりのことをした。そして我々の責任のもとで仕事をしたと思う。けれども仕事の時間が障壁となった。
 - 7-4 そ の 他： 両者にとってよく理解するために小さな問題となったのは言葉であろう。

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS EN
JAPON

- 1.- Nombre: M.V.Z. ALEJANDRO LOYO FERNANDEZ
- 2.- Período de entrenamiento en Japón: 4 meses (21-ABR-21-AGOS-82).
- 3.- Tema de entrenamiento: PRODUCCION, REPRODUCCION, MANEJO Y ENFERMEDADES DE LOS ANIMALES DE LABORATORIO.
- 4.- Asignación y puesto que tenía en el momento de entrenamiento:
JEFE DE OFICINA (BIOTERIO) ELABORACION Y SUPERVISION DE LOS PROGRAMAS DE PRODUCCION DE ANIMALES DE LABORATORIO.
- 5.- Asignación y puesto actuales: COORDINADOR DEL BIOTERIO. ELABORACION Y SUPERVISION DE LOS PROYECTOS DE CONTROL DE CALIDAD Y PRODUCCION Y MEJORAMIENTO GENETICO DE LOS ANIMALES DE LABORATORIO.
- 6.- Exprese sus opiniones:
- 6-1 Entrenamiento en Japón: Satisfactorio
 No satisfactorio (si Ud. escoje b) menciones - sus razones.
 Satisfactorio

- 6-2 Después de regresar a México, estudios realizados en Japón le resultaron:
- Muy utiles
 bastantes utiles.
 No utiles (si ud. escoje b) o c), mencione sus razones.
- b).- Al haberse adquirido conocimientos bastante
 tecnificados, se puede escoger el plan de -
 trabajo para poder lograr los objetivos y metas
 que se necesitan en las areas de trabajo.

7. Expreses sus opiniones sobre el proyecto (Por ejemplo, sobre Expertos - Japoneses, administración y trabajos de investigación. Contrapartes - Mexicanos, etc).

7-1. Expertos Japoneses:

Todos los expertos son gente bien preparada con experiencia y sobre todo bien actualizados para desarrollar su trabajo. Gracias por la experiencia al trabajar junto con ellos.

7-2. Administración del Proyecto:

Desconozco toda la administración del proyecto. pero creo que con toda la ayuda económica y técnica por parte de Japón fue muy grande y superó lo que al principio se pensó.

7-3. Contrapartes Mexicanos:

Algunas contrapartes Mexicanos por necesidades económicas personales han tenido que irse, pero la capacitación técnica adquirida esta en México y sirva para el país.

7-4. Otros:

Quiero dar las Gracias por todo el apoyo que nos dió el Gobierno de - Japón y JICA y a los Expertos para este Proyecto y a la vez solicitar y pedir que se programen de ser posible otros proyectos para la superación de México. Gracias. (Domo arigato).

1. Dr. Alejandro Loyo Fernandez
2. 日本での研修期間： 1982. 4. 21 ~ 1982. 8. 21
3. 研修テーマ： 実験動物の生産，繁殖，操作及び疾病
4. 研修時の職位： 実験動物室長，実験動物生産計画の実施及び監督
5. 現 職： 実験動物の調整，実験動物の育種，生産，品質管理計画の実施及び監督
6. 意 見：
 - 6-1 日本での研修： a) 満足している。
 - 6-2 帰国後の研修成果： b) 効果があった。

技術的に十分な知識を得たので業務に必要な計画の選択が出来るようになった。
7. プロジェクトに関する意見（例として，日本人専門家，運営，調査業務，C.P. 他）：
 - 7-1 日本人専門家について： 経験が十分であり，業務の進展に効果があった。一緒に仕事が出来良い経験をした。感謝する。
 - 7-2 プロジェクトの運営について： 全般については知らないが，おそらく技術的，経済的援助は非常に大きく，当初考えられた以上であった。
 - 7-3 カウンターパートについて： 何人かのC Pは経済的な理由により退職したが，技術はメキシコに定着し，国の役に立つ。
 - 7-4 そ の 他： 日本政府，J I C A及びプロジェクト専門家が我々に与えた総ての援助に感謝を申し上げたい。同時にメキシコ発展のために可能であれば他のプロジェクトの計画を申請且つ要請したい。

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS EN
JAPON

1.- Nombre: JUAN JORGE GUTIERREZ MALDONADO

2.- Período de entrenamiento en Japón: 17-ENERO AL 17 DE JULIO-1985.

3.- Tema de entrenamiento: TECNICAS DE DIAGNOSTICO EN ENFERMEDADES DE LOS BOVINOS
 AISLAMIENTO, CARACTERIZACION Y TIPIFICACION VIRAL EN ENFERMEDADES DE BOVINOS.

4.- Asignación y puesto que tenía en el momento de entrenamiento:
JEFE DE SECCION DE ENFERMEDADES EN BOVINOS

5.- Asignación y puesto actuales: NINGUN ASCENSO SIGO EN EL MISMO PUESTO.

6.- Exprese sus opiniones:

6-1 Entrenamiento en Japón: a) Satisfactorio
b) No satisfactorio (si Ud. escoje b) menciones -
sus razones.
a) Satisfactorio.

6-2 Después de regresar a México, estudios realizados en Japón le resultaron:
a) Muy utiles
b) bastantes utiles.
c) No utiles (si ud. escoje b) o c), mencione sus
razones.
a) Muy utiles

7. Expreses sus opiniones sobre el proyecto (Por ejemplo, sobre Expertos - Japoneses, administración y trabajos de investigación. Contrapartes - Mexicanos, etc).

7-1. Expertos Japoneses:

Falta tiempo para los expertos para culminar un adiestramiento completo al menos aquí en México cuando llega un experto nuevo, no se aprovecha al máximo por que en ocasiones se tiene que volver multidisciplinario.

7-2. Administración del Proyecto:

Pienso yo que es bueno, pero hubo algunos periodos de administración que no funcionaron por Parte de Japón.

7-3. Contrapartes Mexicanos:

En este caso no se puede opinar globalmente, yo pienso que en algunos casos si funcionaron las contrapartes mexicanos y en otros no.

7-4. Otros:

Yo pienso que en mi caso el adiestramiento que recibí yo lo pude ampliar más debido a mis inquietudes, pero al llegar aquí a México, no me han dado la oportunidad de aplicarlos, porque faltan recursos humanos, materiales, y desiciones de nuestros Jefes superiores. Otro factor muy importante para que funcionaran contrapartes mexicanos con Japoneses es el tiempo y económico.

1. Dr. Juan Jorge Gutierrez Maldonado
2. 日本での研修期間： 1985. 1. 17 ~ 1985. 7. 17
3. 研修テーマ： 牛の疾病診断技術，牛疾病のウイルスタイプ，性状，分離
4. 研修時の職位： 牛疾病室長
5. 現 職： 同ポジション
6. 意 見：
 - 6-1 日本での研修： a) 満足している。
 - 6-2 帰国後の研修成果： b) 非常に効果あり。
7. プロジェクトに関する意見：
 - 7-1 日本人専門家について： 十分な研修のためには日本人専門家の期間が短い。少なくとも新しい専門家がメキシコに到着の時に，時々反復訓練をしなければ最大限に進歩しない。
 - 7-2 プロジェクトの運営について： 多分良いと思いますが，ある時期十分に作用してなかった。
 - 7-3 カウンターパートについて： 全体的な意見は云えないが，ある場合にはメキシコ人C Pは仕事をしてしたが，他の場合はしていなかった。
 - 7-4 そ の 他： 私の研修中には疑問点を解決できたけれども，メキシコへ戻ってからはその機会是与えられなかった。なぜならば，人材登用や器具がなく，上部の決定もなかったからである。
最も重要な要素としては，時間とお金であろう。

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS EN
JAPON

- 1.- Nombre: RAYMUNDO CASTILLO MEDINA
- 2.- Período de entrenamiento en Japón: 20 de septiembre 1984 al 20 de marzo
de 1985 "6 meses"
- 3.- Tema de entrenamiento: PRODUCCION DE LA VACUNA "GP"
-
- 4.- Asignación y puesto que tenía en el momento de entrenamiento:
79.000 mensuales sin descuento "JEFE DE SECCION"
-
- 5.- Asignación y puesto actuales: 90.000 mensuales sin descuento
78,840 con descuento "JEFE DE SECCION"
-
- 6.- Exprese sus opiniones:
- 6-1 Entrenamiento en Japón: a) Satisfactorio
 b) No satisfactorio (si Ud. escoje b) menciones -
sus razones.
-
- 6-2 Después de regresar a México, estudios realizados en Japón le resultaron:
- a) Muy utiles
 b) bastantes utiles.
 c) No utiles (si ud. escoje b) o c), mencione sus
razones.
-
-
-
-

7. Expreses sus opiniones sobre el proyecto (Por ejemplo, sobre Expertos - Japoneses, administración y trabajos de investigación. Contrapartes - Mexicanos, etc).

7-1. Expertos Japoneses:

En la transmisión de conocimientos estos han sido adecuados para el manejo y desarrollo de los procesos y técnicas enseñadas por los expertos japoneses.

7-2. Administración del Proyecto:

La función administrativa fue muy marcada en cuanto a los recursos necesarios para el funcionamiento del trabajo y para la obtención de los optimos resultados del mismo lo cual beneficio el proyecto.

7-3. Contrapartes Mexicanos:

La participación en el proyecto ha sido constante y se han observado resultados positivos durante su desarrollo, haun cuando no se encuentran todos los contrapartes adiestrados

7-4. Otros:

En el Laboratorio Kyoritsu en Japón efectue un trabajo de investigación con el Dr. Hamada y asesores, debido al problema de la falta de suero GS(-) en México. Referente a la producción de la vacuna GP. trabajando con suero GS (+) e inoculación con suero de caballo.
Obteniendo un título de $10^{5.5}$ TCID 50/ml.

1. Raymundo Castillo Medina

2. 日本での研修期間： 1984. 9. 20 ~ 1985. 3. 20

3. 研修テーマ： GPワクチンの製造

4. 研修時の職位： 係長 (\$ 79,000/月)

5. 現 職： (\$ 90,000/月) → NET (\$ 78,840/月)

6. 意 見：

6-1 日本での研修： a) 満足している。

6-2 帰国後の研修成果： b) 非常に効果あり。

7. プロジェクトに関する意見

7-1 日本人専門家について： 知識の伝達に関し、技術、操作、方法が指導され、適合しあ
った。

7-2 プロジェクトの運営について： プロジェクトの効果と同様、運営についてはよりよい
結果を得るために必要な処遇がとられた。

7-3 カウンターパートについて： プロジェクトへの参加により、研修を受けたCP総てに
プラスの効果が見られた。

7-4 そ の 他： 共立商事の浜田氏等と共にMexicoにないGS(-)血清やGP
ワクチンの製造やGS(+)血清や馬血清の接種等の仕事を行っ
たタイターは $10^{5.5}$ TCID₅₀/mlであった。

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS EN
JAPON

1.- Nombre: M.V.Z. RAUL MARTINEZ ARRIAGA

2.- Período de entrenamiento en Japón: SEP-4-85 a Mar-5-86.

3.- Tema de entrenamiento: 1.- Research works and laboratory test on animal viral disease. 2.- Assay techniques on animal viral vaccines

4.- Asignación y puesto que tenía en el momento de entrenamiento:
Jefe de Sección

5.- Asignación y puesto actuales: Jefe de proyecto.

6.- Exprese sus opiniones:

6-1 Entrenamiento en Japón: a) Satisfactorio
b) No satisfactorio (si Ud. escoje b) menciones - sus razones.
a) satisfactorio

6-2 Después de regresar a México, estudios realizados en Japón le resultaron:

a) Muy utiles
b) bastantes utiles.
c) No utiles (si ud. escoje b) o c), mencione sus razones.

a) muy utiles

7. Expreses sus opiniones sobre el proyecto (Por ejemplo, sobre Expertos -
Japoneses, administración y trabajos de investigación. Contrapartes -
Mexicanos, etc).

7-1. Expertos Japoneses:

Ha sido de gran valía la transferencia de conocimientos para la -
implementación de métodos y técnicas en la constatación de vacunas
virales. La disponibilidad de los expertos japoneses ha sido optima
y necesaria.

7-2. Administración del Proyecto:

Creo que ha sido buena ya que hemos contado con el equipo y material
adecuado proporcionado por JICA.

7-3. Contrapartes Mexicanos:

Afortunadamente el aprendizaje por parte de los contrapartes mexicanos
ha sido satisfactorio. He importante que no solo se haya dado oportuni-
dad de aprender a una clase elitista.

7-4. Otros:

Desafortunadamente la situación económica del país ha provocado un - -
incremento bajo en salarios con respecto a la inflación, por lo cual -
personal capacitado en Japón ha recurrido al cambio de trabajo en busca
de mayores ingresos para cubrir las necesidades de su vida diaria.

Sabemos por lo tanto la importancia de transmitir nuestras experiencias
en el Japón al personal técnico de este Centro Nacional en Salud Animal.
Agradezco la oportunidad que se me brindó para participar en el curso de
entrenamiento en Japón.

1. Dr. Raul Martínez Arriaga
2. 日本での研修期間： 1985. 9. 4 ~ 1986. 3. 5
3. 研修テーマ： (1)ウイルス性疾病の研究室内テスト及び研究
(2)動物ウイルスワクチンの検定
4. 研修時の職位： 係長
5. 現 職： プロジェクト主任
6. 意 見：
 - 6-1 日本での研修： a) 満足している。
 - 6-2 帰国後の研修成果： b) 非常に効果あり。
7. プロジェクトに関する意見
 - 7-1 日本人専門家について： ウイルスワクチンの検定に関する技術及び方法について技術伝達に大きな効果があった。日本人専門家の対処は必要且つ十分であった。
 - 7-2 プロジェクトの運営について： おそらく良かった。J I C A により適当な器材・器具が供与された。
 - 7-3 カウンターパートについて： 幸いにメキシコ人カウンターパートにとっての訓練は満足すべきものであった。エリート階級だけに学ぶ機会が与えられたのではないところが重要であった。
 - 7-4 そ の 他： 不幸にも経済状況はインフレーションにより給与の低下するに至った。これにより日本で研修を終えた人は、彼等の生活に必要なためによりよい収入を求めて職場を変えていった。CENASA の技術者に我々が日本で経験したものを移転することが重要であることを知っています。日本の研修に参加する機会を与えて頂き感謝しております。

14-IV-86

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS EN
JAPON

1.- Nombre: CESAR GALVAN MEDINA

2.- Período de entrenamiento en Japón: Sep-4-1985 a Marzo 4 1986

3.- Tema de entrenamiento: Diagnóstico enfermedades Virales de los Cerdos.

4.- Asignación y puesto que tenía en el momento de entrenamiento:
Jefe de Sección

5.- Asignación y puesto actuales: Jefe de Proyecto . (Pero con el sueldo -
de Jefe de Sección).

6.- Exprese sus opiniones:

6-1 Entrenamiento en Japón: a) Satisfactorio
b) No satisfactorio (si Ud. escoje b) menciones -
sus razones.
a) Satisfactorio

6-2 Después de regresar a México, estudios realizados en Japón le resultaron:

- a) Muy utiles
- b) bastantes utiles.
- c) No utiles (si ud. escoje b) o c), mencione sus razones.

Muy utiles.

7. Expreses sus opiniones sobre el proyecto (Por ejemplo, sobre Expertos -
Japoneses, administración y trabajos de investigación. Contrapartes -
Mexicanos, etc).

7-1. Expertos Japoneses:

Trabajé únicamente con el Dr. Shimabukuro en la Sección de Diagnóstico
en 1985, con lo que me di cuenta que siempre están en la mejor disposi-
ción para ayudar y enseñar con lo que estoy muy contento y agradecido.

7-2. Administración del Proyecto:

Por parte Japonesa ha sido una administración excelente, siempre oportu-
na; por la parte Mexicana hemos tenido problemas económicos que se han
agudizado en estos últimos años que dificultan la buena marcha de este
proyecto.

7-3. Contrapartes Mexicanos:

En esta última fase se han logrado difundir mucho la transferencia de
tecnología debido al gran número de expertos y contrapartes y a la
buena disposición y esfuerzo de contrapartes mexicanos.

7-4. Otros:

Al termino de este proyecto, sin duda surgirán problemas carenciales
(Reactivos, Biologicos, Material, etc.). Por lo que solicito sea
contemplado este punto por parte Japonesa. Por mi parte en lo que sea
posible pondré en práctica los conocimientos adquiridos durante mi
estancia en Japón.

A t e n t a m e n t e

1. Dr. Cesar Galvan Medina
2. 日本での研修期間： 1985. 9. 4 ~ 1986. 3. 4
3. 研修テーマ： 豚ウイルス性疾病の診断
4. 研修時の職位： 室長
5. 現 職： プロジェクト室長（但し給料は一般室長並みである）
6. 意 見：
 - 6-1 日本での研修： a) 満足している。
 - 6-2 帰国後の研修成果： a) 非常に効果あり。
7. プロジェクトに関する意見：
 - 7-1 日本人専門家について： 1985年診断部門でDr. Shimabukurs とのみ仕事をした。十分な指導と助言を頂き満足且つ感謝している。
 - 7-2 プロジェクトの運営について： 日本側の運営は特別で、いつも効果的であった。メキシコ側は経済危機によりここ数年本プロジェクトの推進に問題があった。
 - 7-3 カウンターパートについて： 多数の専門家により深く技術の移転が行われ、メキシコ人O Pの対処と努力もあった。
 - 7-4 そ の 他： プロジェクト終了後、試薬、器具類不足の問題が考えられる。日本側でこの点を考慮して頂ければと思う。私の場合は在日時得た知識で仕事が続けられる。

14-IV-86

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS EN
JAPON

- 1.- Nombre: M.V.Z. JUAN ANTONIO MADRID DIAZ
- 2.- Período de entrenamiento en Japón: 9 MESES
- 3.- Tema de entrenamiento: PRODUCCION DE VACUNA CONTRA COLERA PORCINO
- 4.- Asignación y puesto que tenía en el momento de entrenamiento:
TECNICO ESPECIALIZADO, JEFE DE SECCION
- 5.- Asignación y puesto actuales: JEFE DE PRODUCCION DE LA VACUNA
CONTRA COLERA PORCINO
- 6.- Exprese sus opiniones:
- 6-1 Entrenamiento en Japón: a) Satisfactorio
b) No satisfactorio (si Ud. escoje b) menciones -
sus razones.
- 6-2 Después de regresar a México, estudios realizados en Japón le resultaron:
a) Muy utiles
b) bastantes utiles.
c) No utiles (si ud. escoje b) o c), mencione sus
razones.

7. Expreses sus opiniones sobre el proyecto (Por ejemplo, sobre Expertos - Japoneses, administración y trabajos de investigación. Contrapartes - Mexicanos, etc).

7-1. Expertos Japoneses:

EMPEÑO EN LA ENSEÑANZA, COMPAÑERISMO

SE APRENDIERON NUEVAS TECNICAS SOBRE LA PRODUCCION DE
VACUNA GPE⁺ Y UN AMPLIO DESARROLLO PARA EL CONTROL DE
CALIDAD DE LA MISMA.

7-2. Administración del Proyecto:

SE OBTUVO UN BUEN FINANCIAMIENTO, QUE CON EL CUAL
SE SUPERABAN LOS PROBLEMAS DEL ENTRENAMIENTO Y
APROVECHAMIENTO DEL MISMO. NO SE DETECTO INCONVENIEN-
TES DENTRO DE SU ADMINISTRACION, FUE BASTANTE AGIL.

7-3. Contrapartes Mexicanos:

SE DEMOSTRO INTERES EN CUANTO A SU ENTRENAMIENTO
ACLARANDO DUDAS Y ESTABLECIENDO EL ESTRICTO CONTROL Y
DESARROLLO TANTO DE LA PRODUCCION COMO EL CONTROL DE
CALIDAD DE LA VACUNA GPE⁺

7-4. Otros:

AGRADECEMOS A LOS DIRECTIVOS COMO AL PERSONAL DE
EXPERTOS JAPONESES LA AYUDA TAN VALIOSA DEL CONVENIO
REALIZADO Y EL ENTRENAMIENTO QUE SE ME OTORGO EN JAPON
COMO UNÁ EXPERIENCIA INOLVIDABLE PARA MI DESARROLLO
PROFESIONAL.

1. Dr. Juan Antonio Madrid Diaz
2. 日本での研修期間： 1983. '3. 10 ~ 1983. 12. 10 (9ヶ月)
3. 研修テーマ： 豚コレラワクチンの製造
4. 研修時の職位： 専門技術者，係長
5. 現 職： 豚コレラワクチン製造室長
6. 意 見：
 - 6-1 日本での研修： a) 満足している。
 - 6-2 帰国後の研修成果： b) 効果がある。
7. プロジェクトに関する意見：
 - 7-1 日本人専門家について： 指導は熱心で同僚愛がある。GPE⁻ワクチン製造及び品質管理に関する広く進んだ技術を学んだ。
 - 7-2 プロジェクトの運営について： 研修問題及びその活用に関して十分な運営がなされた。運営に問題が見られたとは思えない。対処がスムーズであった。
 - 7-3 カウンターパートについて： 疑問をはっきりさせる研修については興味を示す。きびしい検定が実施されたGPE⁻ワクチンの品質管理についても十分に進展が見られた。
 - 7-4 そ の 他： 実施された協力の価値ある援助と日本人専門家の指導と私の専門知識の向上のために忘れられない経験の日本の研修に感謝します。

14-IV-86

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS EN
JAPON

- 1.- Nombre: P. BIOL. HORTENCIA HERNANDEZ LARA
- 2.- Periodo de entrenamiento en Japón: 6 Meses
- 3.- Tema de entrenamiento: PRODUCCION Y CONSTATAION DE VACUNA CONTRA
COLERA PORCINO CEPA GPE"
- 4.- Asignación y puesto que tenfa en el momento de entrenamiento:
LABORATORISTA
- 5.- Asignación y puesto actuales: LABORATORISTA ESPECIALIZADO
- 6.- Exprese sus opiniones:
- 6-1 Entrenamiento en Japón: a) Satisfactorio
b) No satisfactorio (si Ud. escoje b) menciones -
sus razones.
- 6-2 Después de regresar a México, estudios realizados en Japón le resultaron:
- a) Muy utiles
b) ~~bastantes~~ utiles.
c) No utiles (si ud. escoje b) o c), mencione sus
razones.

7. Expreses sus opiniones sobre el proyecto (Por ejemplo, sobre Expertos - Japoneses, administración y trabajos de investigación. Contrapartes - Mexicanos, etc).

7-1. Expertos Japoneses:

Pienso que los Expertos Japoneses dominan bien su campo, el cual hizo
que yo adquiriera muchos conocimientos para la elaboración y constatación
de Vacuna contra Cólera Porcino Cepa GPE⁻ por otro lado son personas muy
amables, atentas y bellas.

7-2. Administración del Proyecto:

La administración del proyecto fue bien programada por lo que hubo resulta-
dos positivos.

7-3. Contrapartes Mexicanos:

Las contrapartes Mexicanas, estamos aplicando todas las técnicas que los
Expertos Japoneses nos transmitieron durante el Proyecto.

7-4. Otros:

Doy las gracias a JICA y a PRONABIVE por haberme dado la oportunidad
de viajar a Japón, para conocer los mecanismos de producción y constata-
ción de la Vacuna contra el Cólera Porcino Cepa GPE⁻.
Gracias por todas las atenciones que se me brindaron.

1. Sra. Hortencia Hernandez Lara
2. 日本での研修期間： 1985. '9. 3 ~ 1986. 3. 4 (6ヶ月間)
3. 研修テーマ： GPETMワクチンの製造及び検定
4. 研修時の職位： 研究員
5. 現 職： 専門研究員
6. 意 見：
 - 6-1 日本での研修： a) 満足している。
 - 6-2 帰国後の研修成果： a) 非常に効果あり。
7. プロジェクトに関する意見：
 - 7-1 日本人専門家について： 日本人専門家はその分野に良く精通しており、私はGPETMワクチンの製造、検定のための沢山の知識を得ました。又、日本人は親切で、礼儀正しく、美しい。
 - 7-2 プロジェクトの運営について： プロジェクトの運営は非常に計画的であり、良かった。
 - 7-3 カウンターパートについて： プロジェクトを通じて日本人専門家より移転された技術の総てはメキシコ人カウンターパートに適要されている。
 - 7-4 そ の 他： GPETM豚コレラワクチンの製造及び検定の機構を知るために日本への研修の機会を与えて頂いたJ I C A及びPRONABIVEに感謝します。私に提供頂いた親切の総てに礼を述べます。

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS EN
JAPON

1.- Nombre: M.V.Z. ALEJANDRA GUTIERREZ QUINTERO

2.- Periodo de entrenamiento en Japón: SEPTIEMBRE-MARZO

3.- Tema de entrenamiento: DIAGNOSTICO DE ENFERMEDADES CIRALES DE LOS EQUINOS.

4.- Asignación y puesto que tenía en el momento de entrenamiento:
JEFE DE SECCION DE EQUINOS

5.- Asignación y puesto actuales: JEFE DE SECCION

6.- Exprese sus opiniones:

6-1 Entrenamiento en Japón: a) Satisfactorio
b) No satisfactorio (si Ud. escoje b) menciones -
sus razones.
a) Satisfactorio

6-2 Después de regresar a México, estudios realizados en Japón le resultaron:

a) Muy utiles
b) bastantes utiles.
c) No utiles (si ud. escoje b) o c), mencione sus
razones.

a) Muy utiles

7. Expreses sus opiniones sobre el proyecto (Por ejemplo, sobre Expertos -
Japoneses, administración y trabajos de investigación. Contrapartes -
Mexicanos, etc).

7-1. Expertos Japoneses: EL DR. SHIMABUKURO

HA SIDO DE UNA GRAN AYUDA YA QUE GRACIAS A SU EXPERIENCIA SE HAN -
REALIZADO PRODUCCION DE ANTIGENOS, ANTISUEROS E IMPLEMENTACION DE -
NUEVAS TECNICAS EN EL AREA DE EQUINOS.

7-2. Administración del Proyecto:

CREO QUE FUE BIEN LLEVADA

7-3. Contrapartes Mexicanos:

CONSIDERO QUE SI HUBIERAN SIDO SOLO PROFESIONALES (MEDICOS, QUIMICOS
O BIOLOGOS) EL PROYECTO HUBIERA AVANZADA MAS RAPIDO.

7-4. Otros:

LA SELECCION DE BECAS SE REALIZO EN ALGUNAS OCASIONES EN FORMA -
ARBITRARIA YA QUE DEBIERON TOMAR EN CUENTA EL CURRICULUM VITAE Y -
LA EXPERIENCIA EN EL AREA.

1. Dra. Alejandra Gutierrez Quintero
2. 日本での研修期間： 1985. 9. 3 ~ 1986. 3. 4
3. 研修テーマ： 馬のウイルス性疾病診断
4. 研修時の職位： 馬の診断室長
5. 現 職： ”
6. 意 見：
 - 6-1 日本での研修： a) 満足している。
 - 6-2 帰国後の研修成果： a) 非常に効果あり。
7. プロジェクトに関する意見：
 - 7-1 日本人専門家について： 多大の協力があり，抗原，抗血清の生産及び馬部門の新技術の実施され感謝する。
 - 7-2 プロジェクトの運営について： 多分良好であった。
 - 7-3 カウンターパートについて： 専門職（獣医，化学者又は生物学者）のCPのみに実施されればプロジェクトはもっと早く進んだであろう。
 - 7-4 そ の 他： 研修生の選抜について若干専横的なところが見られた。それぞれの分野について経験と知識を考慮して決定されるべきと考える。

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS

1.- Nombre: FERNANDO LABIOS, MVZ, M.Sc.

2.- Asignación y puesto actuales: (Contraparte Dr. Shimizu).
Jefe Depto. Productos Biológicos y Bioterio.
Coordinador del Proyecto por México en CENASA.

3.- Exprese sus opiniones sobre el Proyecto (por ejemplo, sobre expertos - japoneses, administración y trabajos de investigación, contrapartes - mexicanos, etc).

3-1. Expertos Japoneses:

Considero que tienen un entrenamiento y capacidad adecuadas,
ha existido integración e identificación con las contrapartes.
Facilitaria en el futuro que los expertos dominaran el
idioma inglés para favorecer la transferencia de tecnología.

3-2. Administración del proyecto:

Por la parte japonesa fue ágil y apropiado,
por la parte mexicana lento e inapropiado.

3-3. Contrapartes mexicanos:

Existió gran entusiasmo por el aprendizaje,
sin embargo hubo dificultad en la comunicación;
con algunos expertos (idioma)

3-4. Otros:

1. Dr. Fernando Larios Gutierrez

2. 現 職：製剤剤，実験動物部長（清水専門家のカウンターパート）

家畜衛生センターにおけるプロジェクトメキシコ側コーディネーター

3. プロジェクトに関する意見：

3-1 日本人専門家について： 適切な能力と指導力があると考えられる。CPと共に集成と証明を実施した。将来、日本人専門家が技術の伝達を容易にするために英語が十分に話せるといいのですが。

3-2 プロジェクトの運営について： 日本側は適切且つじん速であった。メキシコ側は不適切且つゆっくりであった。

3-3 カウンターパートについて： 研修という意味では特に効果があり成功であった。しかしながらある専門家についてはコミュニケーションが困難であった（言語）。

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS

- 1.- Nombre : REBECA PEREZ BECERRA
- 2.- Asignación y puesto actuales:
\$ 29,400.00 NETO JEFE DEL PROYECTO DE MICROSCOPIA ELECTRONIC
- 3.- Exprese sus opiniones sobre el Proyecto (por ejemplo, sobre expertos - japoneses, administración y trabajos de investigación, contrapartes - mexicanos, etc).
- 3-1. Expertos Japoneses:
- DR. KUBO , MUCHA EXPERIENCIA Y FACILIDAD PARA ENSEÑAR, PACIENCIA
- DR. SHIMABUCURO MUCHA DISPOSICION PARA ENSEÑAR, ADAPTANDOSE A LAS
- NECESIDADES NACIONALES PACIENCIA PARA ADIESTRAR AL PERSONAL.
- 3-2. Administración del proyecto:
- CREO QUE EL PROYECTO PUDO HABER TENIDO MEJORES RESULTADOS, PERO EN
- UN MOMENTO DADO SE LIMITO LA FACIDAD DEL PERSONAL PARA APRENDER CON
- LOS EXPERTOS.
- 3-3. Contrapartes mexicanos:
- UNO DE LOS PRINCIPALES PROBLEMAS FUE EL IDIOMA, PERO DESPUES DE LOS -
- PRIMEROS PROBLEMAS, EL PROBLEMA SE REDUCIA UN POCO POR EL CONOCIMIENTO
- DEL EXPERTO Y CONTRAPARTE.
- 3-4. Otros: EL VOLUMEN DE TRABAJO DEL CENTRO, SIEMPRE LIMITO LA DISPONIBI -
- LIDAD DEL PERSONAL, ASI COMO EL HORARIO. UN GRAN PROBLEMA ES LA MALA -
- REMUNERACION DEL PERSONAL, ASI COMO OTRO TIPO DE ESTIMULOS.

1. Dra. Rerez Becerra

2. 現 職： 電顕プロジェクト責任者，手取り \$ 29,000/半月

3. プロジェクトに関する意見：

- 3-1 日本人専門家について： 久保専門家は経験豊富で指導力に富み，忍耐強い。
島袋専門家は指導のための準備がよく，研修の為に根気強く
適要された。
- 3-2 プロジェクトの運営について： 多分，プロジェクトは良い結果を得られた。しかし，
ある時期専門家について学ぶ人々に制限があった。
- 3-3 カウンターパートについて： 主問題は言葉であった。しかしその後は専門家とカウン
ターパートの知識により少し問題は軽減できた。
- 3-4 そ の 他： センターの仕事量は，時間帯のように人々にいつも制限があ
る。最大の問題は低賃金であることで，これは別の意味での
刺激である。

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS

1.- Nombre: MVZ EMETERIO SALDIVAR ZUÑIGA

2.- Asignación y puesto actuales:

JEFE DE SECCION DE INMUNOLOGIA

3.- Exprese sus opiniones sobre el Proyecto (por ejemplo, sobre expertos - japoneses, administración y trabajos de investigación, contrapartes - mexicanos, etc).

3-1. Expertos Japoneses:

SON PERSONAS MUY AMABLES Y ALGUNOS DE ELLOS HABLAN MUY POCO EL ESPAÑOL POR LO TANTO PARA PODER TRANSMITIR SUS CONOCIMIENTOS LES HA COSTADO TRABAJO PERO SIN EMBARGO CREO QUE LA MAYORIA DE LOS EXPERTOS JAPONESES DEJARON MUY BUENAS EXPERIENCIAS DE TECNOLOGIA TANTO PARA EL DIAGNOSTICO COMO PARA LA INVESTIGACION.

3-2. Administración del proyecto:

SE FUE LLEVANDO POR PARTE DE LOS JAPONESES EN FORMA EXCELENTE SIN EMBARGO CAUSO ALGUNOS PROBLEMAS LA ADMINISTRACION POR PARTE DE LOS MEXICANOS POR NO TENER LA SUFICIENTE EXPERIENCIA.

3-3. Contrapartes mexicanos:

Por parte de los contrapartes mexicanos la administración no muy adecuada. La selección del personal no fue la adecuada porque mandaron personas que no tenían papeles con que demostrar su experiencia o nivel académico. La selección se hubiera hecho como se esta haciendo.

3-4. Otros: El personal que se ha estado adiestrando en Japón necesita que se le estimule economicamente poruq nada más cumplen su tiempo de la beca y se van.

1. Dr. Emeterio Saldivar Zuniga

2. 現 職： 免疫係長

3. プロジェクトに関する意見：

3-1 日本人専門家について： スペイン語を少しか話さない彼等の知識を伝達するために努力がいったでしょう。しかしながら、日本人専門家の多数は調査としての診断のために多大の良い技術経験を残した。

3-2 プロジェクト運営について： 日本側は特別な形で実施された。しかしながら、運営に関するメキシコ側の問題は経験不十分による。

3-3 カウンターパートについて： メキシコ人カウンターパートの運営は適当ではなかった。人選は適当でなかった。なぜならば、経験や大学水準にない人が送られた。人選は現在やっていることによりなされた。

3-4 そ の 他： 研修を日本で受けた者は経済的に制約する必要がある。なぜならば研修を済ませるとやめてゆくからである。

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS

1.- Nombre : CATALINA VALENCIA VELASCO

2.- Asignación y puesto actuales:

JEFE DE OFICINA

3.- Exprese sus opiniones sobre el Proyecto (por ejemplo, sobre expertos - japoneses, administración y trabajos de investigación, contrapartes - mexicanos, etc).

3-1. Expertos Japoneses: DR. SHIMABUKURO

Muy buena cooperación, con amplios conocimientos para transmitirlos y muchas ganas de enseñar y trabajar en todas las áreas de diagnóstico.

3-2. Administración del proyecto:

Excelente administración por parte los representantes japoneses hasta la fecha, no así de los administradores de años pasados mexicanos - que desviaban recursos económicos para áreas.

3-3. Contrapartes mexicanos:

En lo que se refiere al personal becado, faltó realmente una verdadera selección de profesionistas con experiencia ya que hubo becados - que sin tener un grado profesional se les otorgó una beca, y otros que

regresaron y sin enseñar al personal que en este laboratorio trabajaban se retiraron a empleos particulares quedando su área sin personal - --

3-4. Otros:

Competente y por lo tanto se volvió a comenzar perdiendose lo - ya ganado.

1. Dra. Catalina Valencia Velasco

2. 現 職： 室長

3. プロジェクトに関する意見：

3-1 日本人専門家について（島袋専門家）： 技術移転のため広い知識により非常に良い協力と効果のある指導，診断に関する広い分野での仕事が行われた。

3-2 プロジェクトの運営について： 今日まで日本側の運営は特別であった。過去数年のメキシコ側総務関係者は経済状況の変更により十分ではなかった。

3-3 カウンターパートについて： 研修生に関しては，経験のある専門家の選択が真剣に行われなかった。専門家の資格のないものが研修生に選ばれ，研修を受けた。又，帰ってきた研修生はセンターで仕事をしている人々に教えることなく民間企業へ移り，彼のあとには有能な人が残っていない。得たものを失うという繰り返しである。

3-4 そ の 他：

14-ABR-86

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS

1.- Nombre : GUADALUPE ANGULO BLANCO

2.- Asignación y puesto actuales:

COORDINADORA DE BACTERIOLOGIA

3.- Exprese sus opiniones sobre el Proyecto (por ejemplo, sobre expertos - japoneses, administración y trabajos de investigación, contrapartes - mexicanos, etc).

3-1. Expertos Japoneses:

LOS EXPERTOS JAPONESES QUE VINIERON A ENTRENARNOS SOBRE EL MANEJO DEL MICROSCOPIO ELECTRONICO, EN MI CASO EL DR. YHOSIRO Y EL DR. MAEDA - NOS ENTRENARON EN EL USO DEL MICROSCOPIO ELECTRONICA Y EL PROCESAMIENTO DE ALGUNAS MUESTRAS, TAMBIEN ME PERMITIERON DESARROLLAR ALGUNAS METODOLOGIAS POR MI MISMA PARA SER IMPLEMENTADAS EN EL LABORATORIO.

3-2. Administración del proyecto:

LO QUE ME IMPIDIO QUE PUDIERA DESARROLLAR ALGUN TRABAJO EN MICROSCOPIA ELECTRONICA FUE QUE MI LABORATORIO DE TRABAJO ES EL DE BACTERIOLOGIA Y EN ESE HE PERMANECIDO DE TIEMPO COMPLETO.

3-3. Contrapartes mexicanos:

COMO CONTRAPARTE MEXICANO PUDE DESARROLLAR SATISFACTORIAMENTE LAS - FUNCIONES QUE ME ENCOMENDARON LOS EXPERTOS JAPONESES CON QUIEN TRABAJE.

3-4. Otros:

1. Guadalupe Angulo Blanco

2. 現 職： 細菌部のコーディネーター

3. プロジェクトに関する意見：

3-1 日本人専門家について： 電顕操作に関する指導のためにやってきた日本人専門家は、私の場合は吉野、前田専門家で、電顕の操作や材料の準備に関して我々に指導した。又、研究室で実施する各種方法の発達に寄与した。

3-2 プロジェクトの運営について： 電顕によりある種の業務の発展が出来たであろうが、私の研究室は細菌学の分野でフルタイムであったことが私の悩みであった。

3-3 カウンターパートについて： メキシコ側としては十分に満足すべき発展が見られた。日本人専門家は総ての仕事に頼りにされた。

3-4 そ の 他

14-ABR-86

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS

1.- Nombre : MARGARITA HERNANDEZ GONZALEZ

2.- Asignación y puesto actuales:

ANALISTA TITULAR

3.- Exprese sus opiniones sobre el Proyecto (por ejemplo, sobre expertos - japoneses, administración y trabajos de investigación, contrapartes - mexicanos, etc).

3-1. Expertos Japoneses:

YO TUVE LA OPORTUNIDAD DE TRABAJAR CON EL DOCTOR TAKAJOCHI EL CUAL -
ME BRINDO SU AYUDA Y CONOCIMIENTO EN FORMA AMPLIA Y ABIERTA, EN ESPE-
CIAL MI RECONOCIMIENTO AL DR. SHIMABUKURO POR SU CAPACIDAD, YA QUE ES
EL EXPERTO JAPONES QUE BRINDO SUS CONOCIMIENTOS A TODA EL AREA DE -
DIAGNOSTICO.

3-2. Administración del proyecto:

ESTUVO BIEN CANALIZADA POR PARTE DEL JAPON.

3-3. Contrapartes mexicanos:

EN LAS PRIMERAS ETAPAS DEL PROYECTO NO SE CANALIZARON EN FORMA ADECUADA
LAS BECAS A JAPON, NO SE APROVECHO LO APRENDIDO POR LOS BECADOS YA QUE
MUCHA GENTE NO IMPLEMENTO LAS TECNICAS APRENDIDAS DURANTE ESOS MESES.

3-4. Otros:

1. Sra. Margarita Hernandez Gonzalez

2. 現 職： 分析専任

3. プロジェクトに関する意見：

3-1 日本人専門家について： 高橋専門家と仕事をする機会があり、広く開かれた知識と助言に感謝する。とくに島袋専門家の能力に関し私の認識では診断分野の総てに知識のある日本人専門家です。

3-2 プロジェクトの運営について： 日本側は体系的であった。

3-3 カウンターパートについて： プロジェクトの初期の段階には日本への研修生受け入れは適当ではなく、研修生は進歩しなかった。この期間に学んだ技術は定着しなかった。

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS

1.- Nombre : DIANA SILVIA NERI BERNAL

2.- Asignación y puesto actuales:
JEFE DE LABORATORIO ESPECIALIZADA.

3.- Exprese sus opiniones sobre el Proyecto (por ejemplo, sobre expertos - japoneses, administración y trabajos de investigación, contrapartes - mexicanos, etc).

3-1. Expertos Japoneses:
SIEMPRE DISPUESTOS A AYUDAR MUY BIEN CAPACITADOS, AYUDANDONOS A SALIR DE PROBLEMAS QUE SE NOS PRESENTABAN EN EL DIAGNOSTICO, ENSEÑARON TECNICAS RAPIDAS PARA DIAGNOSTICO.

3-2. Administración del proyecto:
MUY BUENO DE PARTE DE LOS EXPERTOS JAPONESES NO SIENDO ASI DE LA PARTE MEXICANA.

3-3. Contrapartes mexicanos:
YO OPINO QUE LAS BECAS NO FUERON DADAS AL PERSONAL ADECUADO, O QUE PROFESIONALMENTE NO ESTABA BIEN CAPACITADO PARA RECIBIR UN ENTRENAMIENTO DE ESE NIVEL YA QUE NO HUBO UNA SELECCION DEL PERSONAL, NI PARA SER CONTRAPARTES NI PARA IRSE A JAPON, ALGUNAS PERSONAS QUE SE FUERON

3-4. Otros: NO TRANSMITIERON SUS CONOCIMIENTOS YA QUE PASO ALGUN TIEMPO DE HABER REGRESADO SE FUERON A EMPRESAS PARTICULARES.

1. Dra. Diana Silvia Neri Bernal

2. 現 職： 専任研究室長

3. プロジェクトに関する意見：

3-1 日本人専門家について： 常に効果的に準備されており，診断で見られた問題解決に助言あり，早期診断技術を教えられた。

3-2 プロジェクトの運営について： 日本人専門家の方は非常に良かったが，メキシコ側はそうではなかった。

3-3 カウンターパートについて： 私は人々の研修は適当でなかったと思います。専門的にみて選抜された人々の水準は研修を受けるために十分ではなかった。又，カウンターパートとしても，日本へ行くためにも研修を受けた何人かは知識の移転もせず，帰国後ある期間の後民間会社へ行ってしまった。

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS

1.- Nombre : M.V.Z. Ma. de la Luz Hernández Salgado.

2.- Asignación y puesto actuales:

\$ 90,000.00 Jefe de Sección

3.- Exprese sus opiniones sobre el Proyecto (por ejemplo, sobre expertos japoneses, administración y trabajos de investigación, contrapartes - mexicanos, etc).

3-1. Expertos Japoneses:

Los expertos fueron personas calificadas en su área de trabajo y en sus avances técnicos, ya que cada uno traía su especialidad designada. Y a la vez nos brindaron apoyo en cualquier área que se presentaba algún problema.

3-2. Administración del proyecto:

La administración fue lo mejor que se pudo dar por parte del experto japonés, ya que la administración de nuestro país tiene algunos problemas en lo económico y en sus gerarquías lo cual en algunas ocasiones fue obstáculo para que la administración siguiera su curso.

3-3. Contrapartes mexicanos:

Los contrapartes mexicanos por su mayoría fueron seleccionados por las autoridades administrativas de nuestro país si-
endo gente no idonia para el desarrollo de las técnicas.

Una minoría son personas capaces y responsables del trabajo a desempeñar.

3-4. Otros:

1. Dra. Maria de la Luz Hernandez Salcedo

2. 現 職： \$ 90,000 ， 係長

3. プロジェクトに関する意見：

3-1 日本人専門家について： 専門家の皆様はそれぞれの分野で有能な人々であった。それぞれははっきりとした専門をもっていた。同時に出くわしたある問題のいかなる分野においても、我々への協力を感謝する。

3-2 プロジェクトの運営について： 日本側は良かった。メキシコ側は経済危機の問題がある。また運営はいつも通りで閉鎖された場合がみられた。

3-3 カウンターパートについて： メキシコ人カウンターパートの大部分は総務管理者に選ばれたもので技術の進展のためには適切でなかった。少数のものが能力があり、仕事へ責任のあるものです。

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS

1.- Nombre : Rosa Ruiz Mejía

2.- Asignación y puesto actuales:

\$ 90,000.00 Jefe de Sección

3.- Exprese sus opiniones sobre el Proyecto (por ejemplo, sobre expertos - japoneses, administración y trabajos de investigación, contrapartes - mexicanos, etc).

3-1. Expertos Japoneses:

Respecto a los expertos japoneses si me enseñaron sus
teorías y sus técnicas y estas las he desarrollado
adecuadamente.

3-2. Administración del proyecto:

Si ha estado bien organizada ya que la han manejado perso
nas adecuadas al respecto y los resultados han sido satis
factorios.

3-3. Contrapartes mexicanos:

Si hemos recibido muy buena capacitación por parte de los
expertos japoneses.

Pero desafortunadamente, no contamos ya con algunos de los
contrapartes.

3-4. Otros:

1. Rosa Ruiz Mejia

2. 現 職： \$ 90,000 ， 係長

3. プロジェクトに関する意見：

3-1 日本人専門家について： 日本人専門家は理論と技術を指導し、適切な進歩がみられた。

3-2 プロジェクトの運営について： 組織的で人員配置も適当であり、結果は満足出来るものであった。

3-3 カウンターパートについて： 日本人専門家により十分な知識を得た。残念ながら幾人かのカウンターパートはやめてしまった。

14-ABR-86

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS

1.- Nombre : ALICIA PEREZ HERNANDEZ

2.- Asignación y puesto actuales:

JEFE DE SECCION DE "ESTUDIOS POST-MORTEN"

3.- Exprese sus opiniones sobre el Proyecto (por ejemplo, sobre expertos - japoneses, administración y trabajos de investigación, contrapartes - mexicanos, etc).

3-1. Expertos Japoneses:

SOLO TUVE LA OPORTUNIDAD DE CONOCER AL DR. KUBO QUE LLEGO A MEXICO EL 12 DE ENERO Y SE FUE APROXIMADAMENTE EL 7 DE ABRIL. CREO QUE REALMENTE ERA UN EXPERTO EN MICROSCOPIA ELECTRONICA Y SIEMPRE TUVO BUENA DISPOSICION DE ENSEÑAR, FUE MUY PACIENTE, ESTRICTO Y BUENA PERSONA.

3-2. Administración del proyecto:

NO PUEDO OPINAR DE LA ADMINISTRACION DEL PROYECTO PORQUE LA -
DESCONOZCO.

3-3. Contrapartes mexicanos:

NO HAN SIDO LO SUFICIENTE ESTRICTOS EN LA SELECCION DE LOS ESTUDIANTES MEXICANOS, PUES CONSIDERO QUE ALGUNOS NO REUNEN LOS REQUISITOS NECESARIOS COMO SON IDIOMAS, TITULO, CURRICULUM etc. ESTO HA OCASIONADO -
QUE CUANDO SU ENTRENAMIENTO TERMINA LOS ESTUDIANTES NO CONTINUAN -

3-4. PREPARANDOSE Y DESARROLLAN OTRAS ACTIVIDADES DIFERENTES EN LAS QUE FUERON OTROS: ENTRENADOS O BIEN CAMBIEN DE EMPLEO.

1. Dra. Alicia Perez Hernandez

2. 現 職： Post-Morten 研究係長

3. プロジェクトに関する意見

3-1 日本人専門家について： 1月12日～4月7日頃まで電顕の専門家としておられた久保さんだけ知る機会を得た。常に対処が適当で、忍耐強くきびしく、いい人であった。

3-2 プロジェクトの運営について： よく知らないので答えることが出来ません。

3-3 カウンターパートについて： メキシコ人研修生の選定は厳格ではなかった。言葉、資格、カリキュラム等の必要事項が満たされていないと考慮された。これは研修の終了した研修生が継続せず他の部門の発展のために努力せず転職した。

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS

1.- Nombre : GARCIA ROMERO JAVIER

2.- Asignación y puesto actuales:

JEFE DE SECCION DE INOCULACION DE ANIMALES

3.- Exprese sus opiniones sobre el Proyecto (por ejemplo, sobre expertos - japoneses, administración y trabajos de investigación, contrapartes - mexicanos, etc).

3-1. Expertos Japoneses:

SE ME ASIGNO COMO CONTRAPARTE DE LOS DOCTORES NORIKIYO YAVE Y TADAO
IMADA

Y MI OPINION ES QUE SON GENTE MUY PREPARADA NO SOLO EN EL -
AREA EN LA QUE VINIERON A ENTRENARNOS SI NO EN AREAS DISTINTAS, EN
GENERAL FUERON ACCESIBLES Y PACIENTES A NUESTRAS DUDAS DE TRABAJO, ME
QUEDO MUY BUENA IMAGEN DE ELLOS.

3-2. Administración del proyecto:

MI OPINION ES EXCLUSIVAMENTE AL TRABAJO QUE ESTUVE REALIZANDO EL TIEMPO
FUE HASTA CIERTO PUNTO REDUCIDO, SE LOGRO TRABAJAR CASI TODO LO QUE
SE PRETENDIA Y CON BUENOS RESULTADOS PERO FUE NECESARIO UN POCO MAS -
DE TIEMPO PARA CONCLUIR CON TODAS LAS PRUEBAS.

3-3. Contrapartes mexicanos:

DESDE LUEGO FUE COMPLETAMENTE FORMATIVO PARA MI EL HABER PODIDO ADQUIRIR
TODOS ESTOS CONOCIMIENTOS, AHORA ESTOY SEGURO DE QUE MI TRABAJO TIENE
BUENAS BASES Y ES AHORA UN TRABAJO PROFESIONAL, YA QUE ANTES HACIA LAS
COSAS Y NO SABIA MUCHAS VECES NI POR QUE. AHORA ME SIENTO CAPAZ DE -
INCLUIR COSAS NUEVAS O MODIFICAR MIS TECNICAS CONFIADO EN QUE TODO -

3-4. Otros: SALDRA DE LA MEJOR MANERA.

1. Dr. Garcia Romero Javier

2. 現職： 動物接種係長

3. プロジェクトに関する意見：

3-1 日本人専門家について： 屋部，今田専門家のカウンターパートとして指名され，そして私の意見では非常に技術があり，担当分野だけでなく違った分野においても良く知っておられた。一般的には親しみやすく，仕事上の疑問についても忍耐強く，私にとって非常に良い印象を残した。

3-2 プロジェクトの運営について： 期間が短かったけれども良い結果と共に必要とする仕事をしました。ただ総ての検査を終えるためにはもう少し期間が必要であった。

3-3 カウンターパートについて： もちろん私のためには完全な形で総ての知識を手に入れることが出来た。現在，確かに私の仕事は十分な基礎があり，専門的な仕事である以前は色々なことをもわからずに何度もやっていた。
現在私は新しいことや，確定した技術の応用を含めよりよい方法への適要能力がある。

CUESTIONARIOS PARA LOS CONTRAPARTES ENTRENADOS

1.- Nombre : MVZ. SARA MATILDE AGUILAR LAURENTS

2.- Asignación y puesto actuales:

Coordinador de Técnicos Especializados en la Sección de Cólera
Porcino del Departamento de Virologicos.

3.- Exprese sus opiniones sobre el Proyecto (por ejemplo, sobre expertos - japoneses, administración y trabajos de investigación, contrapartes - mexicanos, etc).

3-1. Expertos Japoneses:

Trabajé durante 3 años con 3 Expertos Japoneses, con dos de ellos recibí en-
trenamiento sobre pruebas de Control de Calidad para la Vacuna contra Cólera
Porcino Cepa GPE^m, personas muy finas y capaces, a quienes debo todo lo que
aprendí, brindándome todo su apoyo; lamentablemente no puedo opinar lo mismo
del primer Experto con quién trabajé, ya que su conducta desde su llegada a
PRONABIVE fué muy negativa.

3-2. Administración del proyecto:

Considero que los trámites de tipo administrativo siempre fueron rápidos y satis-
factorios, gracias a la colaboración tanto de personas Japonesas como Mexica-
nos.

3-3. Contrapartes mexicanos:

Se recibió mucho apoyo y entusiasmo en el Proyecto, no solamente de las con-
trapartes Mexicanas sino también de las personas que de una u otra forma colabo-
raron en el mismo.

3-4. Otros: El material que donó JICA nos será de gran utilidad para la Producción
y el Control de Calidad de la Vacuna GPE.

1. Dra. Sara Matilda Aguilar Lauronte (PRONABIVE)

2. 現 職： ウイルス部豚コレラ室技術員

3. プロジェクトに関する意見

3-1 日本人専門家について： 3年間で3人の日本人専門家と仕事をし、その二人より豚コレラGPBワクチンの品質管理の検定について研修を受けた。高級で能力のある人々であり、しなければならぬことは総て学んだ。彼らの協力に感謝している。残念ながら仕事をした最初の専門家については同様の意見ではない。プロナビベに來られて以来、彼の行為は総て否定的であった。

3-2 プロジェクトの運営について： 運営対処は常に早く満足できるものであり、メキシコ人として日本人専門家の皆様の協力に感謝します。

3-3 カウンターパートについて： プロジェクトの影響と援助を受けた。それらはメキシコ人カウンターパートだけではなく、人々に違った形での協力があった。

3-4 そ の 他： JICAの供与資材はGPワクチンの製造、検定に非常に効果があるだろう。

主要機材の利用・管理・処分状況表

供与年度	プロジェクト名	メキシコ国家畜衛生センター	機材名 (規格・能力)	供与数	処分数	現有数	利用状況	管理状況	処分理由等
56			1. 飼料粉砕機 ソゴール4	1	0	1	A	A	
			2. 飼料攪拌機 タエナカUZU 25GR	1	0	1	A	A	
			3. 冷却速心機 日立20PR-52D	1	0	1	A	A	
			4. 炭酸ガスふ卵器 平沢WJ-22E	1	0	1	A	B	片側CO ₂ コントローラー調整不能→一般ふ卵器として使用, 片側OK
			5. 低温ふ卵器 平沢HL-2S	1	0	1	A	A	
			6. 超音波細胞破砕器 トミ-UR-200P	1	0	1	C	A	
			7. 寒天免疫電気泳動装置 コスモDP-300	1	0	1	E	C	定電圧装置故障中, 当地での修理困難?
			8. 酵素抗体測定装置 三光純薬 MR-580	1	0	1	B	A	
			9. 回転培養装置 三光医理化RAT-12	1	0	1	A	A	
			10. 小型蒸気滅菌器 トミ-SD-30ND	1	0	1	A	A	
			11. 乾熱滅菌器 サクラTF-51	1	0	1	A	A	
			12. 電子上皿天秤 ザルトリクス1213MP	1	0	1	E	C	修理中
			13. 生物顕微鏡 ニコンVBD-FT	1	0	1	B	A	
			14. 写真撮影装置 ニコンUFX-35A	1	0	1	C	A	
			15. 倒立顕微鏡 ニコンダイアフォト	1	0	1	D	B	
			16. ミリポアフィルター ミリポアYY-30 29316	2	0	2	B	A	
			17. 分光光度計 日立100-40	1	0	1	B	A	
			18. 超低温槽 三洋MDF-230AT	1	0	1	A	A	
			19. クリオスタット サクラCM-41	1	0	1	B	A	
			20. 化学天秤 ザルトリクス2462	1	0	1	C	A	
			21. 卓上小型速心機 日立05P-22	1	0	1	A	A	

昭和61年3月31日現在

供与年度	機材名 (規格・能力)	供与数	処分数	現存数	利用状況	管理状況	処分理由等
56	22. 製氷機 星崎F-120B	1	0	1	A	A	
	23. 卓上乾燥波菌器 平山SW45PT	1	0	1	A	A	
	24. スピードオートクレーブ トミ- S-90N	1	0	1	A	A	
	25. 振とう器 モノシンII型水平式	1	0	1	C	B	
	26. 真空ポンプ ミリボアXX6100 00	2	0	2	B	A	
	27. 加圧タンク ミリボアXX6700P20	2	0	2	B	A	
	28. 電気ふ卵器 サクラIF-4	1	0	1	A	B	
	29. 小型乾燥波菌器 NK-31	1	0	1	A	B	
	30. PHメーター 東電HM-18E	1	0	1	B	B	
	31. タイプライター オリンピアES-100	1	0	1	A	A	
	57	1. 微生物 ダットサン1800cc, オートマチック	1	0	1	A	A
2. 純水製造装置 野村マイクロサイエンス		1	0	1	A	A	
3. オートクレーブ 池本理化1908302D		1	0	1	A	A	
4. 振とう培養装置 光研社		1	0	1	C	A	
5. 超低温槽 サンヨー-MDF-290AT		2	0	2	A	A	
6. 冷凍离心机 日立20PR-52D		1	0	1	A	B	
7. 卓上离心机 日立05P-22		2	0	2	A	B	
8. 含湿度測定器 池本理化MD-1		1	0	1	D	B	製造業務の遅延
9. フラクションコンレクター 池本理化32S		1	0	1	C	B	
10. タイプライター オリベッティET231		1	0	1	A	A	
11. 自動洗浄器 大日本製薬7S-430-00		1	0	1	A	B	
12. 電子顕微鏡 JEOL, JEM-100CX		1	0	1	C	A	
13. 真空ポンプ ミリボアXX5522050		1	0	1	A	B	

供与年度	機 材 名 (規格・能力)	供与数	処分数	現有数	利用状況	管理状況	処 分 理 由 等		
57	14. 自動分注器 平沢FH-10R	2	0	2	D	B	製造業務の遅延		
	15. 低温槽 池本理化U-23	2	0	2	A	B			
	16. 冷蔵庫 フールブールEV-20C	1	0	1	A	B			
	17. 倒立顕微鏡 オリンパスCKC-Bi-2	2	0	2	A	A			
	18. 複写機 リコーDT-5200	1	0	1	A	A			
	19. pHメーター 日製産業F-8	1	0	1	B	B			
	20. 電子天秤 メトラPE-200	1	0	1	A	A			
	21. 連続希釈器 エッペンドルフ5203	1	0	1	C	B			
	22. 多段式培養器 三和理化	1	0	1	D	A		製造業務の遅延	
	23. 液体培養容器 富士平FA2230	1	0	1	A	A			
	24. ふ卵器	1	0	1	A	A			
	58	1. パソコンコンピュータ NEC PC-8801	1	1	0	E			メキシコ地震で焼失
		2. 衛生車 ダッジ ダートK	1	0	1	A		A	
		3. " ダットサン 1800 オートマチック	1	0	1	A		A	
4. " " 1500		1	0	1	A	A			
5. 凍結乾燥機 Hull		1	0	1	E	B	製造業務の遅延		
6. 低温ふ卵機 平沢HL-2S		1	0	1	A	A			
7. マグネチックスターラー ヤマトMH-8I		5	0	5	A	A			
8. 超低温槽 エバラESL-530A		1	0	1	A	A			
9. 冷蔵庫 エバラU-23L		2	0	2	A	A			
10. 大型自動電気乾燥滅菌器 平沢CMC-12E		1	0	1	A	A			
11. 中型蒸気滅菌装置 平沢ZK-2-Fe AVS		1	0	1	E	C	検定済の未完成. 温度センサーの破損 →4月入手予定		
12. 小型蒸気滅菌器 トミーSD-30ND		2	0	2	A	A			

供与年度	機 材 名 (規格・能力)	供与数	処分数	現有数	利用状況	管理状況	処 分 理 由 等	
58	13. 倒立顕微鏡 オリンパスCKC-Bi-1-W	4	0	4	A	A		
	14. 冷凍离心机 日立20PR-52D	2	0	2	B	A		
	15. 電子秤量計 ザルトリクス141eMP	1	0	1	B	B		
	16. 冷蔵庫 サンヨーSR-494F(W)	4	0	4	A	A		
	17. クリーベンベンチ 日立PCV-1302AN	1	0	1	A	A		
	18. フクチン分注用無菌箱 マルスサイエンス	1	0	1	E	B	製造業務の遅延	
	19. 自動噴霧機 丸山MS-253ECCR	1	0	1	C	B		
	20. 超音波ビベット洗浄器 池本理化 UO150PS-UT7RA	1	0	1	B	B		
	21. 濾過器 ミリボアYY3029316	1	0	1	B	B		
	22. 真空ポンプ ミリボアXX5522056	2	0	2	B	B		
	23. 加圧タンク ミリボアXX5700P20	1	0	1	E	C		
	24. " " XX6700P05	1	0	1	E	C	一部々品不足, 部品調達予定	
	25. アンブル用凍結乾燥機 TR-FD-80	1	0	1	E	C	故障中, 修理可能	
	26. 大型蒸気滅菌機 TR-DR	1	0	1	E	C	温度センサーの故障(4月入手予定)	
	27. pHメーター 日立H-7LD	1	0	1	B	B		
	28. 自動巻縮機 吉田製作所GAC-5	1	0	1	E	B	フクチン製造業務の遅延	
	59 (テカマック)	1. 半自動巻縮機 VECCHI EASA-50	1	0	1	C	B	
		2. 製氷機 NACONA ICECANDER250/160	1	0	1	E	C	製剤棟特に配管工事の遅延
		3. フラスコ洗浄機	1	0	1	E	B	製造業務の遅延
		4. 顕像バット	1	0	1	C	B	
		5. 遠心機 SOLBAT C-09	2	0	2	B	B	
		6. 洗濯機 PHILIP	1	0	1	B	B	
		7. 回転培養装置 三光RAT-12	1	0	1	B	A	

供与年度	機材名 (規格・能力)	供与数	処分数	現有数	利用状況	管理状況	処分理由	等
59	8. 炭酸ガス系卵器 平沢WJ-22D	1	0	1	A	A		
	9. 回転培養装置 光研社	1	0	1	A	A		
	10. 超低温槽 サンヨウMDF-390AT	2	0	2	A	A		
	11. 冷却遠心機 日立20PR-52D	1	0	1	A	A		
	12. 遠心機 日立05PR-22	1	0	1	A	A		
	13. 卓上遠心機 日立05P-22	1	0	1	A	A		
	14. スピードオートクレーブ トミ-SD-30ND	1	0	1	A	A		
	15. 倒立顕微鏡 オリジナルCKC-BI-2	2	0	2	A	A		
	16. 電子天秤 ザルトリウス1413-MP8	1	0	1	A	A		
	17. " " 1507-MP9	1	0	1	A	A		
	18. pHメーター 堀場F-8AT	1	0	1	A	A		
	19. " " F-8E	1	0	1	A	A		
	20. スライド作製器 ナショナルパナコビ-	1	0	1	C	B	現像, 定着液の老化が問題である。	
	21. ビデオカセット装置 ソニー	1	0	1	C	A		
	22. 液体窒素容器 MVE	2	0	2	E	C		
	23. 遠心機ロータ 日立RPS-40T	1	0	1	C	A		
	24. 濾過器 東洋 293mm	1	0	1	B	A		
	25. " " 142mm	1	0	1	B	A		
	26. 加圧タンク 東洋DV-20	1	0	1	B	A		
	27. " " DV-10	1	0	1	B	A		
	28. 試料写真振影装置 夏目KN-821	1	0	1	C	A		
	29. カメラ ニコンF3	1	0	1	C	A		
	30. フラッシュコンコレクター イスコ1850型	1	0	1	C	A		
	31. アスピレーター ヤマトWP-45	2	0	2	A	A		

供与年度	機材名 (規格・能力)	供与数	処分数	現有数	利用状況	管理状況	処分理由等
59	32. プレートミキサー 三光	4	0	4	A	A	製造業務の遅延
	33. 自動分注器 平沢FH-10S	1	0	1	E	B	
	34. " " FH-100D	1	0	1	E	B	
	35. 冷却送付箱 511型	2	0	2	C	A	
	36. エムエーサルホルモグナイザー	2	0	2	C	A	
	37. ホモグナイザー回転装置	2	0	2	C	A	
	38. マルチピペット	2	0	2	A	A	
	59	1. 超低温槽 サンヨウMDF-290AT	4	0	4	A 3台 E 1台	
PROBABIVE	2. 振とう培養装置 光研社	1	0	1	C	A	
	3. 炭酸ガスふ卵器 平沢WJ22D	1	0	1	C	A	
	4. 回転培養装置 三光	1	0	1	C	A	
	5. " 平沢	1	0	1	C	A	
	6. " 光研社	1	0	1	C	A	
	7. スピードオートクレーブ トミ-SD-30ND	1	0	1	A	A	
	8. 冷却遠心機 日立20PR-52D	1	0	1	B	A	
	9. 卓上遠心機 日立05PR-22	1	0	1	B	A	
	10. 蛍光顕微鏡 コンBHF-3-2	1	0	1	E	C	
	11. 倒立顕微鏡 オリジナルCKC-BI-2	4	0	4	B	A	
	12. 電子天秤 ザルトリクス PE-200	1	0	1	B	A	
	13. " " 1413MP8	1	0	1	B	A	
	14. 含湿度測定装置 他本	1	0	1	C	A	
	15. pHメーター 堀場F-SAT	1	0	1	B	A	
	16. 自動分注器 平沢FH-10S	1	0	1	B	A	

供与年度	機 材 名 (規格・能力)	供与数	処分数	現有数	利用状況	管理状況	処 分 理 由 等
59	17. 自動分注器 平沢FH-100D	1	0	1	B	A	
	18. 濾過器 東洋 293 mm	1	0	1	B	A	
	19. " " 142 mm	1	0	1	B	A	
	20. 加圧タンク 東洋	2	0	2	B	A	
60	1. パーソナルコンピュータ アップルIIe	1	0	1	C	A	使用講習中
	2. オートクレーブ 水平型	1	0	1	A	A	
	3. クーラー (電験室用)	1	0	1	E		設置工事中
	4. 組立式恒温室	2	0	2	A	A	

JICA